

Fujitsu Experience Day 2026

2026.7.15

Wed. — 16 Thu.

9:00—18:00

※最終日：17:00まで

会場 TAKANAWA GATEWAY
Convention Center

セミナーご紹介

ワット・ビット連携で実現する持続可能な 社会インフラの構築とソブリンAIの社会実装

7月16日（木）13:00—13:45 会場B

電力需要の増加、AI技術の発展、そして電力供給の地理的制約といった課題が顕在化しています。こうした背景から、電力と情報通信の効果的な連携（ワット・ビット連携）が注目されています。本セミナーではワット・ビット連携で実現される社会インフラの構築とソブリンAIの社会実装について、皆様とともに探ります。

- 東京電力ホールディングス株式会社 上席フェロー
- 国立大学法人東京大学 執行役・副学長（DX推進、情報システム）
- Ridgelinez株式会社 上席執行役員 Partner

岡本 浩 氏
田浦 健次郎 氏
渡瀬 博文 氏

※ ファシリテーター 富士通株式会社 ソーシャルシステム事業本部長

後藤知範



[イベントご紹介ムービーはこちら！](#)

ワット・ビット連携で実現する持続可能な社会インフラの構築とソブリンAIの社会実装

社会インフラを取り巻く構造変化

人口減少やインフラ老朽化が進み、安全保障やレジリエンスへの要請も高まる中で、社会を支える仕組みそのものに、これまで以上の高度化と柔軟性が求められています。

従来は、電力は電力、通信は通信、デジタルはデジタルとして、それぞれを個別に最適化する考え方が中心でした。

しかし今は、技術の進展によって、これまで一体として扱えなかった電力・通信・デジタル基盤を、連動させながら運用できる時代になりつつあります。

こうした変化の中で、社会インフラ全体を、より柔軟で持続可能な形へ再設計することが求められています。

その具体像のひとつが、「ワット・ビット連携」です。電力とデジタルを一体的に捉え、社会インフラ全体の最適化を目指す取り組みです。

ワット・ビット連携という新たなアプローチ

これまで、データセンターは利用者に近い都市部へ集約するのが合理的でした。通信遅延や運用負荷の制約が大きく、性能や運用の一貫性の観点から拠点の分散化には限界があったためです。

一方で現在は、APN（All-Photonics Network）技術等による高速・低遅延ネットワークの進展に加え、複数拠点を一体的に運用するクラウド技術や、需要に応じて計算処理を最適な場所へ振り分ける制御技術が実用化段階を迎えています。

その結果、再生可能エネルギーが豊富な地域にデータセンターを分散配置し、ネットワークで束ねながら、全体として最適に運用するという考え方が、実装可能な選択肢になってきました。

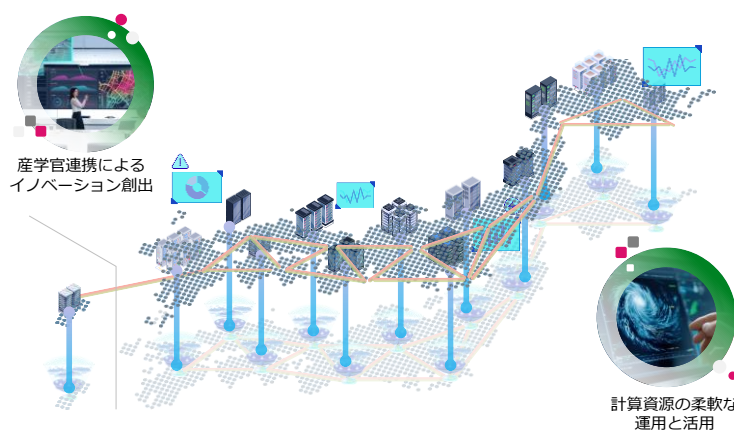
ワット・ビット連携は、電力をデータセンター等の電力消費地へ近接させる考え方に加え、コンピュータによる処理そのものを最適な場所へ移すという新たな考え方を取り入れた発想の転換です。

これは単なる効率化ではなく、社会インフラの設計思想そのものをアップデートする取り組みです。

新しい社会システムへの共創プロジェクト

この構想は、単に新しいデータセンターを建てれば実現できるものではありません。どこで電力を作り、どのように通信をつなぎ、どこでデータを処理し、どのようなルールで運用するのかに加え、利用者にとって必要な応答性能や可用性が確保されるのか、安心して利用できるのかといった視点も重要になります。

たとえば、電力側だけを最適化しても通信制約が残れば使えず、IT側だけを高度化しても、社会実装のルールや運用責任に不確実性があれば公共領域では広がりません。



だからこそ、電力・通信・IT・アカデミアに加え、重要社会事業者や政策・制度を担う主体が連携し、技術・制度・運用を一体で設計することが不可欠です。

ワット・ビット連携は、個別技術の寄せ集めではなく、それぞれの主体が得意な領域で連携・貢献しあい、新しい社会システムへ移行していくための共創プロジェクトなのです。

公共・社会分野に広がる活用可能性

ワット・ビット連携で整備する新たな社会基盤はさまざまな分野での価値創出に貢献します。

AIによる科学研究の高度化、災害時の迅速な意思決定、地域エネルギーの最適化、スマートシティの実現など、公共・社会インフラ領域における活用が期待されています。

また、こうした分散した拠点をネットワークと運用技術によって束ねることで、全体として一つの大規模な基盤のように、柔軟かつ一体的に機能させることが可能になります。

グローバルレベルの機能を実現し世界へ展開

このように分散した基盤を統合して実現する考え方は、いわば「バーチャルハイパースケーラー」のようなイメージです。日本各地のリソースを最適に活かしながら、グローバルレベルのスケールと機能を提供する、新しい社会インフラのあり方です。

本セミナーではワット・ビット連携、そしてワット・ビット連携で実現する社会像について、有識者の方々にご議論いただきます。

ご参加の皆様にとって、持続可能な未来社会のあり方についてお考えを深め、新たなインサイトを得ていただける機会となれればと考えております。

富士通株式会社

公共・社会インフラビジネスグループ ビジネスクリエーション統括部

本セミナー・資料に関するお問い合わせ先

富士通株式会社 Fujitsu Experience Day 2026 公共関連ブース事務局
contact-gopub@cs.jp.fujitsu.com

※お問合せいただく際、メール件名か本文に
「セミナー：ワット・ビットで実現する持続可能な社会インフラ構築、に関する問合せ」
とご記載ください